

○西田昌司君 是非、積極的にこの整備を進めていただきたいと思います。

その上で、私は中央リニアについてお聞きしたいんです。といいますのは、今はJR東海任せでやっていますから、東京から名古屋までを先にやって、あとはちょっと後でという話なんですね。しかし、これは同時開業しないと意味がない。しかも、東京オリンピックがもう目の前に来ている。それから、その後も東京、首都圏はどんどんどんどん大きくなっていく。

そういうことを考えましたときに、私は、この際考えなきゃならないのは、同時開業はもちろんですけれども、プラス成田—関空中央エクスプレスにすべきだと思うんですよ。つまり、成田から関空までつないじゃう。何が起こるか。これ、すごいですよ。首都圏に空港が、成田、羽田だけじゃなくて、中部空港、関西空港、四つできちゃうわけですよ。しかも、それは一時間で全部首都圏に行っちゃいます。

今一番日本が困っているのは、まさにこの鉄道、それから高速道路、そしてさらには空港、これが本当は一体的に活用して国土軸をつくるんですよ。ところが、そういう話が全く出てきていない、これ、省庁分断されて。これやるのは総理が決断是非していただきたいんです。

しかも、この成田—関空エクスプレスにすると、もう一つ大事なことが出ます。それは何かというと、あの伊丹空港は要らなくなりますよ。もう完全に関空から関西圏まで十分で着いちゃいますからね。伊丹は要らなくなる。要らなくなると何が起こるか。ここに首都機能に移転することができるんですよ。

今、首都直下型地震ということが言われていますね。じゃ、そのときにどうするんだと。これはもう喫緊の課題ですよ。これも一挙に解決できます。しかも、お金は幾ら掛かるのかというと、JR東海が六割、七割持つと言っているんですから、そもそもですよ、あとは政府がお金の出し方を麻生大臣に知恵を絞ってもらいながら出していけば、これはできちゃうんですよ。

是非、こうした大きな夢のある話を安倍内閣が掲げていただくことは大事だと思うんですけども、この中央リニアエクスプレス、特に関空から成田までつなぐ、この新しい計画をやるためには政府がもう一度基本計画を考え直さなきゃいけないんですが、総理の是非御決断をいただきたいと思うんですが、いかがですか。

○内閣総理大臣（安倍晋三君） 一九六四年の東京オリンピックの際に、今のこの東京—大阪間、東海道新幹線が開通したわけでありまして、私も十歳でありましたが、胸がわくわくする思いでありました。

このリニア中央新幹線は、日本が誇る世界最先端の鉄道技術を用いるものでありまして、まさに夢のプロジェクトなんだろうと思います。この整備に関しては、今委員が提案をされましたように、成田空港と関西空港までを延伸をするという案もございますし、様々な御意見があるわけございまして、現在建設主体である、現在のところ建設主体であるJR東海が、計画に沿って東京—大阪間で建設を進めるべく準備をしているものというふうに承知をしておりますが、政府としては、今後着実に事業が進んでいくように、来年度税制改正案において本事業に係る税制上の優遇措置を講ずるなど、できることはバックアップしていきたいと、このように考えております。